

2024年8月29日

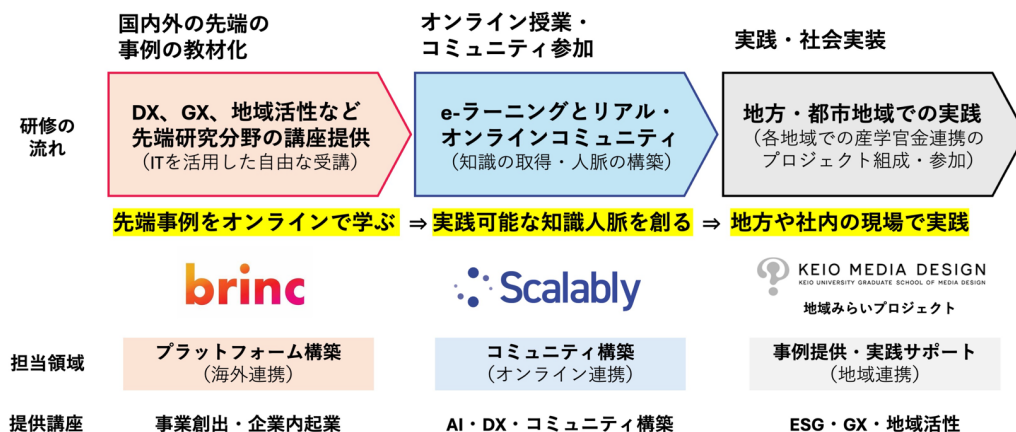
報道関係社各位

慶應義塾大学

海外の様々な先端事例と日本の地域活性の取組を実践で学ぶ 新たな“グローバル・リスキリング”講座を開始

香港を拠点とした世界的アクセラレーター「Brinc」の日本法人である Brinc Japan 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：岡澤 恭弥、以下、Brinc）、コミュニティを軸にした新たなマーケティングソリューションを開発する Scalably 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：山本 純矢、以下 Scalably）と慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科（所在地：横浜市港北区、研究科委員長：稲蔭正彦 以下、KMD）は、産学官金連携により行ってきた地方創生プロジェクトで培ったグローバルな社会実装の知識・経験ノウハウと、海外の DX・GX などの先端事例を組み合わせた「社会課題解決リスキリング特別講座」の提供を開始します。少子高齢化の進行など、世界的にも将来を見据えた課題解決の場となっている日本の地方を舞台に、企業の事業創出や ESG 対応、AI の事業利活用など、企業活動の市場変化への対応を e ラーニングとリアルプロジェクトを通じた社会実装を通じて支援します。

単なるオンライン座学ではなく「身につける場」も含め、スキルの確立を支援



■ 本取組のポイント

- ・海外を含む先端事例をいち早く、どこにいても学べる環境をオンライン上に構築
- ・受講者を対象にしたテーマ別コミュニティを運営することで、新たな人脈の構築を支援
- ・学んだ知識を「スキル」として確立、実感する上で重要な実践（社会実装）の場を提供

「地球規模の広い視野を持ちながら、地域に根ざした視点で行動する」というグローバルの考え方をベースにスキルを「学ぶ」だけでなく、「実践する人と場を繋ぐ」所まで設計した実学重視のプログラムにすることでリスキリングに求められる即戦力と展開力のある人材の育成を目指します。

本プログラムは厚生労働省の人材開発支援助成金の「事業展開等リスキリング支援コース」（経費助成率最大 75%）へ対応しています。

[詳細・事前申込 HPはこちら](#)

プログラムの詳細および事前説明会(9/18)は以下の URL をご覧ください

<https://scalably.com/ja/skill-development>



■ 社会課題解決リスク提供の背景

本年6月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2024」にも記載されている「DX（デジタルトランスフォーメーション）」「GX（グリーントランスフォーメーション）」「地方活性化」を進めていくためには人材育成が急務となっています。

【DX（デジタルトランスフォーメーション）について】

「DX」とは企業が社会の根本的な変化に対して、既成概念の破壊を伴いながら新たな価値を創出するための取り組みです。この分野については、IT人材の不足と昨今のAI技術の急速な発展により、経済産業省の「IT人材需給に関する調査－調査報告書」によると、急速に進む少子高齢化による労働力人口の減少も加わり、2030年にはIoT・AIに関わるIT人材が約55万人不足すると予測されています。

今後の企業の業務効率化、従業員の労働生産性向上を目指すためには、AI人材の獲得とともに、社内のAI利活用やDX、成長分野での人材育成への注力が重要な解決策として注目されています。KMDの地域みらいプロジェクトではプロジェクト発ベンチャー企業（オークツ株式会社）とScalably社とともに地域の産業活性化におけるIT利活用を進めてきた実績を活かしたコースを展開する予定です。

【GX（グリーントランスフォーメーション）について】

「GX」とはクリーンエネルギー中心への転換を目指し、先進技術を活用して様々な環境問題を解決し、カーボンニュートラル（脱炭素）な社会を実現する取り組みです。昨年2月に閣議決定された「GX実現に向けた基本方針」では、2030年までに温室効果ガスの46%を排出削減、2028年頃の炭素賦課金の開始が予定されています。今後更にGX分野の注目が高まると予測されており、企業において脱炭素戦略は実行期に入っています。

KMDの地域みらいプロジェクトでは本学発のスタートアップ企業（SUSTUS株式会社）を通じて、経済産業省主導のGXリーグに参画し、全国各地で行政・地場産業・地域金融の持続可能な関わり方や新規事業創造を支援しています。こうした現在進行中のGX関連のルール作りと現場での対応を踏まえた実践的なコースを設計します。

【地方活性化について】

「地方活性化」については、地域における社会課題への対応として少子高齢化・人口減少を克服し、経済的だけでなく、社会的にも豊かさを実感できる持続可能な地域社会を構築するため、新技術を活用して社会課題を解決する人材が求められています。上記「DX」「GX」と「地方活性化」を組み合わせ、地域社会のニーズに応じた社会実装に取り込むモデル地域を創出し、全国へ波及させていく取り組みが必要です。

KMDの地域みらいプロジェクトでは10年以上に及ぶ、産官学金連携を通じた全国での地方活性化プロジェクトの社会実装事例を有し、現在進行形で多様な社会実装プロジェクトを進めています。プロジェクト事務局（オークツ株式会社）を通じた地域内外の企業との新規事業創出事例や実際の課題事例等をふまえて、地域との社会実装実現に向けた具体的なアクションを学ぶことができるコースを設計します。

厚生労働省の人材開発支援助成金「事業展開等リスク提供支援コース」へ対応

労働者のスキルアップを目的としたリスク提供支援策を国としても現在強化しており、この度、厚生労働省により新しく「事業展開等リスク提供支援コース」制度（経費助成率：最大75%）が設けられています。本制度は企業の新規事業創出ノウハウと、デジタル・グリーンといった成長分野の知識習得による経営層や従業員のスキルアップ・事業の持続的発展を目指しています。これを受けて、BrincとScalably、KMDの3者はグローバルのIT市場での実績と各社の知見と強みを活かした社会課題解決リスク提供特別講座を共同開発いたしました。様々な業種の大中小企業で導入が可能であり、企業のニーズに応じたプログラムの設計が可能です。

■ 「社会課題解決リスクリング特別講座」プログラムについて

プログラム提供講座：

- 企業内起業(イントレプレナー)、事業創出：Brinc Japan 社により提供
- ESG (Environment Social Governance) ・SDGs 対応、地域活性：オークツ株式会社より提供
- GX (グリーントランスフォーメーション)：SUSTUS 株式会社より提供
- 事業への AI 利活用講座、業務課題解決コミュニティ&ワークショップ：Scalably 社により提供

※今後、随時アップデート予定

- Web3、NFT (Non-Fungible Token)、グローバリゼーション
- 企業の投資機能 (CVC) 組成・運用・ガバナンス
- 地方創生、地域活性、自治体との課題解決
- 産業の 6 次化による地域経済の活性化

■ 講座提供者について

Brinc Japan 株式会社

Brinc グループは、世界有数のグローバル・ベンチャー・アクセラレーターとして、世界最大級のセクター特化型アクセラレーター・プログラムをアジア全域で展開しています。2014 年の創業以来、香港、インド、中東を中心とした成長著しいアジアの各市場で、コネクテッド・ハードウェア、ドローン、ロボティクス、クライメートテック、フード・アグリテック、Web 3.0 等のセクターに特化したプログラムを運営してきており、これまでに 35 ヶ国以上の創業者をサポートしてきた実績を有するなど、そのハンズオン型のプログラムを通じて世界中のスタートアップの成長を加速させています。また、Brinc 自らプログラムに参加した有望なスタートアップを対象に投資を行っており、現在は 250 社以上からなるポートフォリオを有しています。

Brinc Japan は、成長著しいアジアの市場への日本のスタートアップの進出を支援するとともに、有望なアジアのスタートアップの日本への進出を促すことで、世界の諸課題を解決していくために、Brinc の日本法人として設立されました。アジア全域で蓄積してきた Brinc グループの知見を活かしながら、日本全国の様々な企業、金融機関、大学、地方自治体などとのパートナーシップを通して、日本におけるアントレプレナーシップの醸成とスタートアップエコシステムの構築を進めてまいります。

代表取締役頭取：岡澤 恭弥

住所：東京都渋谷区桜丘町 1-4 渋谷サクラステージ SHIBUYA タワー7 階 ビジネスエアポート

URL：<https://www.brinc.io/>

Scalably 株式会社

Scalably はコミュニティ管理者向けに、ウェブベースのオンラインコミュニティ活動管理用ソフトウェアを開発しています。コミュニティ組織内外に集まる多国籍・多数の関係者とのコラボレーションを行うための管理機能を提供し、コミュニティが既に使っているオンラインプラットフォームから離れることなく、活動を効率化します。

Scalably のチームは、ブロックチェーンとコミュニティマーケティングの専門家、連続起業家が集結して立ち上がりました。グローバルな Web3 業界からもたらされた知見と、マーケティングノウハウ、そして独自のテクノロジーを活用し、コミュニティを軸とした新しい事業成長・事業創出の仕組みを実現します。

代表取締役社長：山本 純矢

住所：東京都港区虎ノ門 4-1-6 第二大石ビル 5 階

URL：<https://scalably.com/>

慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科

メディアデザイン研究科 (KMD) は、イノベーションを自ら生み出し社会に向けて価値を創出する能力を持つ「メディア・イノベータ」の育成をミッションとしています。メディア・イノベータは分野や国境の枠を超えてグローバルに活動し、ポストパンデミックにおける創造社会を先導していきます。

研究科委員長：稲蔭 正彦（慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科委員長 兼 教授）
住所：神奈川県横浜市港北区日吉 4-1-1
URL：<https://www.kmd.keio.ac.jp/>

□地域みらいプロジェクト ※

「持続可能な地域活性」の実現をミッションとし、専門家視点ではなく地域の実行者目線で最新技術や社会情勢を踏まえた解決案を実情に合わせて企画・実行します。自治体や地場産業、地域住民の方と一緒に活動しながら産官学のオープンイノベーション体制を構築し、農林水産や地場産業の活性化プロジェクトを実行しています。

※KMD 発のスタートアップ企業で、地域活性を推進する「地域みらいプロジェクト」事務局のオークツ株式会社と、経済産業省 GX リーグに参画し脱炭素に向けたツールや削減ソリューションの提供を行っている SUSTUS 株式会社を通じ、現在進行中の地域活性の現場と、GX 関連のルール設計に対応した実践的なコースを提供します。

担当教員：岸 博幸（慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 教授）
プロジェクトリーダー：大江 貴志（慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 研究員）
事務局：オークツ株式会社（大学発ソーシャルベンチャー）
URL：<https://chiki-mirai.localinfo.jp/>

※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、各社社会部等に送信しております。

【本調査内容に関するお問い合わせ先】

慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 研究員 岸浪 聖
Email：sei.kishinami@kmd.keio.ac.jp

【本発表資料のお問い合わせ先】

慶應義塾広報室（増田）
TEL：03-5427-1541 FAX：03-5441-7640
Email：m-pr@adst.keio.ac.jp URL：<https://www.keio.ac.jp/>